

## 第 期第 6 回斜面工学研究小委員会議事録(案)

日時：平成 18 年 7 月 7 日（金） 13:30～18:30

場所：土木学会 C・D 会議室

出席者：後藤委員長、稲垣副委員長、岩佐、伊藤、太田、上杉、上野、釜井、平田、天野、青木、菊池、中野、中濃、西川、谷川、桜井、佐々木(寧)、大谷、宮崎、小嶋の各委員と話題提供の本城、諸岡、辻岡、吉田（計 25 名）

### 1. 委員長挨拶

後藤委員長から開会の挨拶があった。

### 2. 話題提供

以下の話題提供があり、活発な論議がなされた。

#### 「斜面災害と法律」

- ・辻岡信也 京都大学大学院法科学研究科 「建設技術者が把握すべき民法上の責任概念に関する一考察」(資料 6-7-2)
- ・本城勇介 岐阜大学工学部教授 「国家賠償法と社会基盤施設の安全性」(資料 6-7-1)
- ・釜井委員 「横浜での斜面地下マンション訴訟例」(資料 6-7-3)
- ・小嶋委員 「民間開発申請の法の話」(資料 6-7-4)

#### 「災害緊急報告」

- ・後藤委員長 「ジャワ島中部地震災害速報」(資料 6-7-5)
- ・稲垣副委員長 「揖斐川河川閉塞崩壊災害速報」(資料 6-7-6)

### 3. 第 4 回斜面工学研究小委員会議事録(案)の確認

資料 6-1 の説明があり、了承された。また、名簿の修正などは各委員が大野幹事に知らせることとなった。

### 4. WG 活動報告

四国講習会報告（資料 6-2-1）

6 月 29 日に高松で行われた「土砂災害から身を守る」 巨大化する台風、来るべき南海地震に対する斜面防災 - 講習会は 140 人の受講者（会費納入）、当日聴講のみ数名、講師・委員 10 名、四国支部関係者 7 名、計約 160 人の参加者で、盛大に無事開催することができたとの報告があった。

アンケートを実施しなかったが、今後の横浜市民フォーラムの運営に大変参考になった。長谷川委員に感謝したい。

## 第1回事例WG議事報告と事例WG現地検討会報告(資料6-2-2)

・平成18年6月29日(木)17:30-18:30に第1回事例研究WGが参加者:10名「(委員)後藤聡、稲垣秀輝、上野将司、太田英将、大野博之、西山賢一、鈴木素之、長谷川修一(委員外)小西純一(東京ソイルリサーチ)、田村(四電技術コンサルタント)」、高松で開催された内容は以下のとおりで、今後とも活動を活発化し、事例研究の成果としてまとめることが確認された。

### 1) 事例研究WG現地検討会の概要説明(香川大学、長谷川修一)

長谷川委員より6月30日に実施する事例研究WG現地検討会の概要説明があった。

### 2) 話題提供:法面工の劣化を生じた酸性土の工学的性質とその改良(山口大学、鈴木素之)

鈴木委員より、法面工の劣化を生じた酸性土の工学的性質とその改良について話題提供があった。

### 3) 話題提供:土の膨潤と地盤災害(小西純一、東京ソイルリサーチ)

東京ソイルリサーチの小西純一氏から、土の膨潤と地盤災害に関する話題提供があった。

### 4) 事例研究WGの活動計画

事例研究WGの今後の活動については、長谷川主査と鈴木委員が協議して計画し、委員会と調整して、実施することとなった。

・平成18年6月30日(金)8:30-16:00に実施された「平成16年台風23号による香川県内の土砂災害と対策工」の現地検討会の報告があった。参加者は15名「(委員)後藤聡、稲垣秀輝、上野将司、太田英将、大野博之、西山賢一、長谷川修一(委員外)田村栄治(四電技術コンサルタント)、富永哲也(松本測量設計)、野々村敦子(香川大学)、香川大学学生3名、徳島大学学生2名」で以下の有意義な現地検討会ができた。協力していただいた四国森林管理局香川森林管理事務所・香川県長尾土木事務所砂防課・香川県環境森林部みどり整備課のかたがたに感謝したい。

#### (1) STOP1(高松市峰山):

栗林山荘正面斜面(安山岩)の表層崩壊対策工について、四国森林管理局香川森林管理事務所から説明を受けた後、現地調査を行い、意見交換を行った。

#### (2) STOP2(満濃町長尾):

城山南斜面(変成砂岩)の斜面崩壊・土石流と対策工について、四国森林管理局香川森林管理事務所から説明を受けた後、現地調査を行い、意見交換を行った。

#### (3) STOP3(高松市三谷町):

日山北斜面において凝灰岩とデイスait(キャップロック)との境界から発生した岩盤すべり・崩壊と対策工(香川県環境森林部みどり整備課施工)を調査し、意見交換を行った。

#### (4) STOP4(さぬき市寒川町門入):

門入ダム上流(花崗岩)における大規模土石流による被害状況と砂防ダム工事について、香川県長尾土木事務所から説明を受けた後、現地調査を行い、意見交換を行った。

( 5 ) STOP 5 ( さぬき市長尾町西 ):

台風 23 号による法面の一部が崩壊した香川県天然記念物の長尾衝上断層露頭の修復と今後の法面保護対策について意見交換を行った。

横浜市民フォーラム第 1 回準備会報告とフォーラム案 ( 資料 6 - 2 - 3 )

横浜市民フォーラム第 1 回準備会を平成 18 年 6 月 2 日 ( 金 ) 19 : 00 ~ 20 : 45 に神奈川県県民活動サポートセンターで以下の 7 名で実施した。

出席者 : 土木学会 後藤 聡、稲垣 秀輝、中野 裕司

横浜市旭土木事務所 中林 博志

横浜プランナーズネットワーク 橋本 忠美

宅地開発研究所 吉田 洋子、駒林 秀明

打ち合わせ内容は以下のとおりである。

1 . コンセプト

たたき台として作成した物の内容でよい。( 1 )

1 . コンセプト

「知っておきたい斜面のはなし Q&A 斜面と暮らす」の本を用いて多面的な斜面の問題や課題について市民に理解してもらう。

考え方としては、斜面の安全問題とともに緑の保全や景観などのバランスを検討していく。斜面のあり方について問題提起。

また、斜面を整備する方法だけでなく市民が斜面について知り、斜面と上手に付き合い、本当に危険な時は皆で避難する。そんなことについても話題提供し学ぶ。

留意点

市民向けなので、あまり難しい内容にはしない。

危険について、おどし過ぎて市民がどう対応していいのか、わからなくなるような不安が募るようなフォーラムにはしたくない。

( 1 ): たたき台として作成したコンセプト文より抜粋

2 . 日時

平成 18 年 9 月 30 日 ( 土曜日 )

13 : 30 ~ 16 : 30 ( 会場は 12 : 00 ~ 17 : 00 使用可能 )

3 . 場所

関東学院大学 昌子先生に大学の会議室を借用できないか要請、以下のように決定。

KGU 関内メディアセンター ( 横浜メディア・ビジネスセンター 8 階 )

担当 : 長島 京子さん

費用 : 無料 ( 土木学会の名前なら )

人数 : 120 名 ( テーブル使用の場合 ) から 140 名 ( 120 名の状態より更に椅子使用により入場定員の増員可能 )

住所 : 〒 231 - 0011 横浜市中区太田町 2 - 23

連絡 : 045 - 650 - 1131

交通：みなとみらい線「馬車道駅」下車、徒歩約3分

JR・横浜市営地下鉄「関内駅」下車、徒歩約5分

備考：当日はラウンジおよび発表者控え室あり。

(パワーポイントやパソコンも用意できる)

#### 4. 市民フォーラムの内容

パネルディスカッションの形式にする。

#### 5. 参加費

参加費については以下ようになった。

一律：1,100円

当日の資料等について

資料として、「知っておきたい斜面のはなし Q&A - 斜面と暮らす -」の本とパワーポイント資料(土木学会の出版部負担)を配布。

#### 6. 後援について

主催：土木学会地盤工学委員会斜面工学委員会

後援候補：

- ・横浜市 まちづくり調整局  
環境創造局 (後援両局ともOKが後日依頼)
- ・横浜プランナーズネットワーク
- ・横浜事務所協会(NPOまちづくりセンター理事長小渡さんより米沢会長に話してくれる)
- ・防災研究会
- ・その他

#### 7. 呼びかける市民および専門家について

市民：・はま管ネットワーク・・・関東学院大学建築設備 田辺邦男先生より

・川崎管理組合ネットワーク・・・ 同上

・神奈川管理組合ネットワーク・・・神奈川すまいまちづくり協会 渡辺さん

・いえ・みち・まち対象地区の住民・・・横浜市地域整備課 八幡さんより

・さかえ住宅環境フォーラム・・・竹谷会長より

・横浜市建築協定連絡協議会・・・横浜市より

・地区計画地区の住民・・・横浜市より

・まち普請のメンバー・・・横浜市地域整備支援課より

・青葉まちづくりフォーラム・・・鈴木さんより

・その他

専門家：・横浜プランナーズネットワーク

・女性建築技術者の会

・横浜事務所協会防災検討のメンバーおよびまちづくりセンター

・横浜市建築士会

- ・ 神奈川すまいまちづくり協会
- ・ その他

審議をもとに以下のフォーラム案となった。また、他学会の後援については重たくなるなどを考慮し行わないこととするが、参加者が少なくなるようなら、再検討する。

## 斜面と暮らす市民フォーラム

平成 18 年 9 月 30 日 (土)  
 総合司会 吉田

13 : 30 1 . あいさつ ( アンケート配布 ) ( 10 分 )

- ・ 土木学会 あいさつ ( 後藤 )
- ・ 参加者の紹介 ( 吉田 )

13 : 40 2 . パネルディスカッション ( 斜面とくらす ) 70 分

コーディネーター 後藤

各テーマから話題提供(60分) ハワーポイントを使って

1. 総合科学としての斜面工学(10分)(稲垣)
2. 防災からみた斜面(10分)(上野)
3. 維持管理からみた斜面(10分)(太田)
4. 環境生態学からみた斜面(10分)(佐々木寧)
5. 景観計画からみた斜面(10分)(中野)
6. 中越地震での山古志里山事例(10分)(大野)

質疑応答(10分)

総合科学としての斜面について

14 : 50 休 憩 ( アンケート回収 )

15 : 00 3 . パネルディスカッション ( 市民と斜面 ) 80 分

コーディネーター 吉田

話題提供(30分)

1. 斜面と安全 ワークショップの紹介(10分 金井)
2. 宅地の安全、新制度の紹介(10分 釜井)
3. 横浜での多自然型水辺保全の市民活動(10分 橋本)

パネルディスカッション (50 分)

- ・質疑応答
- ・意見交換(ファシリテリング)

16:20 4 .あいさつ

(10 分)

- ・あいさつ(中林)
- ・出前講座の紹介(吉田)

16:30

終 了

5 . 委員会成果について (教科書の作成など)(資料 6 - 3)

委員会成果について、審議の結果以下のとおり、wg を中心に検討することとなった。

- ・ 教科書といっても、重たいものは需要がないので、新書的なものにする。
- ・ 内容は、全体を基礎・事例にするか、項目ごとに分冊にするか検討の余地がある。
- ・ 新書編集wg を募って活動をはじめ。メンバーは、当面、委員長・副委員長・幹事・上野 wg 長・佐々木(寧)wg 長・太田 HP 担当で始める。
- ・ 新書を出す場合には、シンポなどは開かない。

6 . 一般書 Q&A の広報活動 (資料 6 - 4)

1 ) 一般書の現状について

- ・平成 18 年 9 月 29 日時点：初刷 2000 冊全て完売
- ・四国講習会では冊数がなく、苦労したが、7 月初旬に増刷済み (1500 冊)、丸善で 200 部ほどの注文来ており、好調。

2 ) 今後の活動について

( 1 ) 一般紙等への広告の掲載

- ・ これまで、掲載された媒体は以下の通り。

月刊誌「生活と環境」 平成 18 年 3 月号 八村委員

環境新聞 平成 18 年 3 月 15 日 大野幹事

土と基礎(地盤工学会学会誌) 平成 18 年 3 月号 後藤委員長

地質と調査 2006 年第 1 号 菅原氏(応用地質株)

日本地すべり学会誌 第 42 巻第 2 号 里氏(地層科学研究所)

砂防学会誌 第 58 巻第 6 号 小川委員

応用地質(日本応用地質学会学会誌) 第 47 巻第 1 号 大野幹事の依頼

測 量 2006 年 5 月号 足立勝治氏

基礎工 2006 年 5 月号 吉村雅宏氏 (高速道路中央研究所)

地質ニュース：目代委員

・ 今後の掲載予定

農業土木学会誌：青木委員

(2) 講習会や学会、大学の講義等での販売促進

講習会等

- ・ 6月29日に高松で開催された講習会でテキストとして販売(140冊)。
- ・ 9月30日開催予定の横浜フォーラムにて、参加費に含めて販売予定。

大学の講義等

- ・ 立正大学の講義「自然環境のメカニズム(平成18年度後期)」、二百数十部、田村委員
- ・ 長崎大学の講義「地球と惑星の科学(平成18年度後期)」、50~70部、大野幹事  
学会の大会などで販売しにくい場合には、パンフレットを置かせてもらう。  
横浜市民フォーラムが成功した場合、多摩地区・埼玉地区での市民フォーラムを計画し(担当：吉田・大野) 開催時に販売

7. 中越地震のモニタリング研究(資料6-5)

重点研究の報告書が刷り上り(500部)、6月29日(木)の高松市での講習会の参加者に配布した(140部)。印刷した報告書は、白黒印刷であるが、報告書の1ページ目にカラーのものをHP(<http://www.jsce.or.jp/committee/jiban/slope/index.html>)に掲載してあることを明示してある。

資料の配布については、以下のようにしたい。

「斜面とつきあう」の配布先(リストあり)

メールで委員長宛てに集めた報告書を書くにあたってお世話になった方(リスト作成中で、執筆者はリストを後藤委員長に至急送ること)

委員1冊/1人

執筆者5冊/1人

横浜市民フォーラムで配布

残り委員会で保管

春の調査は、下記の内容で、無事修了した。なお、ホームページの「2004年10月23日新潟県中越地震モニタリング・ページ」に桜井委員によるルートマップと太田委員による現地写真を掲載。

詳細な報告書については、秋の調査も交えて検討し、年度末には作成する。

1) 平成18年度春の調査

- ・ 調査日：平成18年5月12日(金)~15日(月)
- ・ 参加者は以下の通り。

参加者リスト(20名)				
	区分	氏名	所属	備考
1	委員長	後藤聡	山梨大学	
2	副委員長	稲垣秀輝	(株)環境地質	
3	委員	伊藤和也	(独)産業安全研究所	
4	委員	岩佐直人	日鐵建材工業(株)	
5	委員	上野将司	応用地質(株)	
6	委員	大石哲也	(独)土木研究所	
7	委員	太田英将	(有)太田ジオリサーチ	
8	幹事	大野博之	長崎大学	
9	委員	小川紀一郎	アジア航測(株)	
10	委員	櫻井正明	(財)林業土木コンサルタンツ	
11	委員	佐々木 寧	埼玉大学	
12	委員	田村俊和	立正大学	
13	委員	中濃耕司	砂防エンジニアリング(株)	
14	委員	中野裕司	中野緑化工技術研究所	
15	委員	中村洋介	立正大学	
16	委員	野田龍	林業土木施設研究	
17	委員	八村智明	(財)日本環境衛生センター	
18	委員	平田文	日特建設(株)	
19	代理	大久保拓郎	(株)環境地質	
20	代理	宮原哲也	(財)日本環境衛生センター	

- ・ 調査工程は、以下の通り。

土木学会斜面工学研究小委員会・新潟県中越地震災害 現地調査(平成18年5月)		
<b>5月11日(木)</b>		
委員会終了後、長岡に移動 宿泊場所(長岡市 ホテルルートイン長岡駅前)到着		
<b>5月12日(金)・第1日目</b>		
(A班)レンタカー借用後・出発-国道17号-小千谷-国道291号	(B班)越後湯沢駅集合後、借上車両で出発-IC越後湯沢-IC小千谷-国道291号-	
-旧山古志村役場合流-南平付近調査(旧役場より奥を往復)-国道291号-東竹沢調査-国道291号-国道252号-国道352号-種芋原-寺尾調査-種芋原-国道352号-国道252号-小出IC-長岡IC		
宿泊場所(ホテルルートイン長岡駅前)到着 打ち合わせ		
<b>5月13日(土)・第2日目</b>		
長岡-国道17号-太田川流域調査(濁沢町から高籠神社往復)-国道17号-小千谷-朝日川流域調査(国道291号沿い:朝日山・浦柄・小栗山)-国道17号-長岡		
宿泊場所(ホテルルートイン長岡駅前)到着 打ち合わせ		
<b>5月14日(日)・第3日目</b>		
(C班)長岡-国道17号-国道291号-小栗山付近調査-国道291号-国道17号-芋川下流(竜光周辺)調査-	(D班)長岡-長岡IC-小出IC-国道252号-国道352号-一ツ峰調査-国道352号-国道252号-国道17号-川口町-塩谷(大日岳)調査-	(E班)長岡-小千谷市内放置家屋等調査-旧山古志村内放置家屋等調査-長岡
E班以外:長岡駅または越後湯沢駅でレンタカー返却、解散 E班:宿泊場所(ホテルニューグリーン)到着 打ち合わせ		
<b>5月15日(月)・第4日目</b>		
(E班)長岡-長岡市役所-長岡市解体廃棄物置き場-国道17号-小千谷市役所-小千谷市解体廃棄物置き場-国道17号-長岡		
長岡駅でレンタカー返却、解散		

## 2) 平成18年度秋の調査

10月ごろをメドに、秋の調査を実施したい。詳細日程については、これから検討し、メール等で連絡する。

## 8. 土木学会全国大会研究討論会(資料6-6)

9月22日の全国大会土木学会研究討論会について、7月26日(水)までに、講演概要集を事務局に送付すればCD-ROMへ掲載される。原稿には以下のような注文があり、

- ・ A4版、1研究討論会で15ページ以内(字数等は自由、表紙を含まない)1人2ページくらい。書式は重点研究課題報告書と同じ書式にしたい。
- ・ 表紙は、表紙例をご参照の上、後藤委員長が作成。
- ・ 原稿はカラーで可(当日配布冊子は白黒、講演概要集CD-ROM掲載はカラー)研究討論



会のプログラムは以下のとおり。

■プログラム案 (90分)： 9月22日(金) 14:50～16:20 受付ー17プリズムハウスP102 (485人収容)

1. 重点研究課題の概要およびモニタリングの説明と本研究討論会の趣旨の説明(後藤):10分

2. パネリストの話題提供： 7人×7分=50分

稲垣秀輝：新潟県中越地震の概要(主に2章の内容)

上野将司：斜面災害の概要(主に3章)

太田英将：住宅地における斜面災害(主に3.5章)

櫻井正明：森林と斜面災害(主に3.4章, 5.2章9)

小川紀一郎：砂防と斜面災害(主に7.1章)

中野裕司：植生, 景観と斜面災害(主に4章と5章)

大野博之：斜面と廃棄物(主に6章)

(各パネリストは復旧・復興についても言及する)

3. パネリスト間の討論と参加者自由討論(桜の用意が必要かも):29分

4. 研究討論会のまとめ(後藤):1分

合計90分

■ 今後の予定

1.) パネリストは7月18日までにCD-ROM用原稿を後藤委員長に送付。

2.) 後藤が原稿を取りまとめて, 7月26日までに提出

9. その他(次回委員会は9月8日など)

・次回委員会は9月8日で話題提供として中越地震で活躍した防衛庁の旅団長に住民避難などについて願います。依頼は桜井委員が防大の先生を通じて行い、旅団長が出来ない場合には防大の先生に願います。時間は1時間程度。委員からの話題提供は上野委員から第2白糸トンネル崩落事故での崩壊予知について行っていただく。時間は30分程度。

なお、次々回の委員会は11月22日である。

・タイ北部地すべり災害調査団の募集

タイ北部で20名程度の死者が出た地すべり災害が発生した。9月15日～18日に佐々木(寧)委員を団長とする調査団を出す予定、詳細は佐々木委員が調整し、メーリングリストを通じて随時情報を流すこととなった。

・沖縄地すべり災害調査団の募集

沖縄で発生している地すべり災害について、斜面工学小委員会で調査するかどうか検討することとなった。詳細は幹事団で検討し、メーリングリストを通じて随時情報を流すこととなった。

## 配布資料

- 資料 6 - 0 . 第 6 回 斜面工学研究小委員会出欠表
- 資料 6 - 1 . 第 5 回 委員会議事録(案)
- 資料 6 - 2 . WG 活動報告
- 資料 6 - 3 . 委員会成果について
- 資料 6 - 4 . 一般書斜面 Q&A の 広報・普及活動について
- 資料 6 - 5 . 中越地震のモニタリング研究
- 資料 6 - 6 . 土木学会全国大会研究討論会資料
- 資料 6 - 7 . 話題提供資料